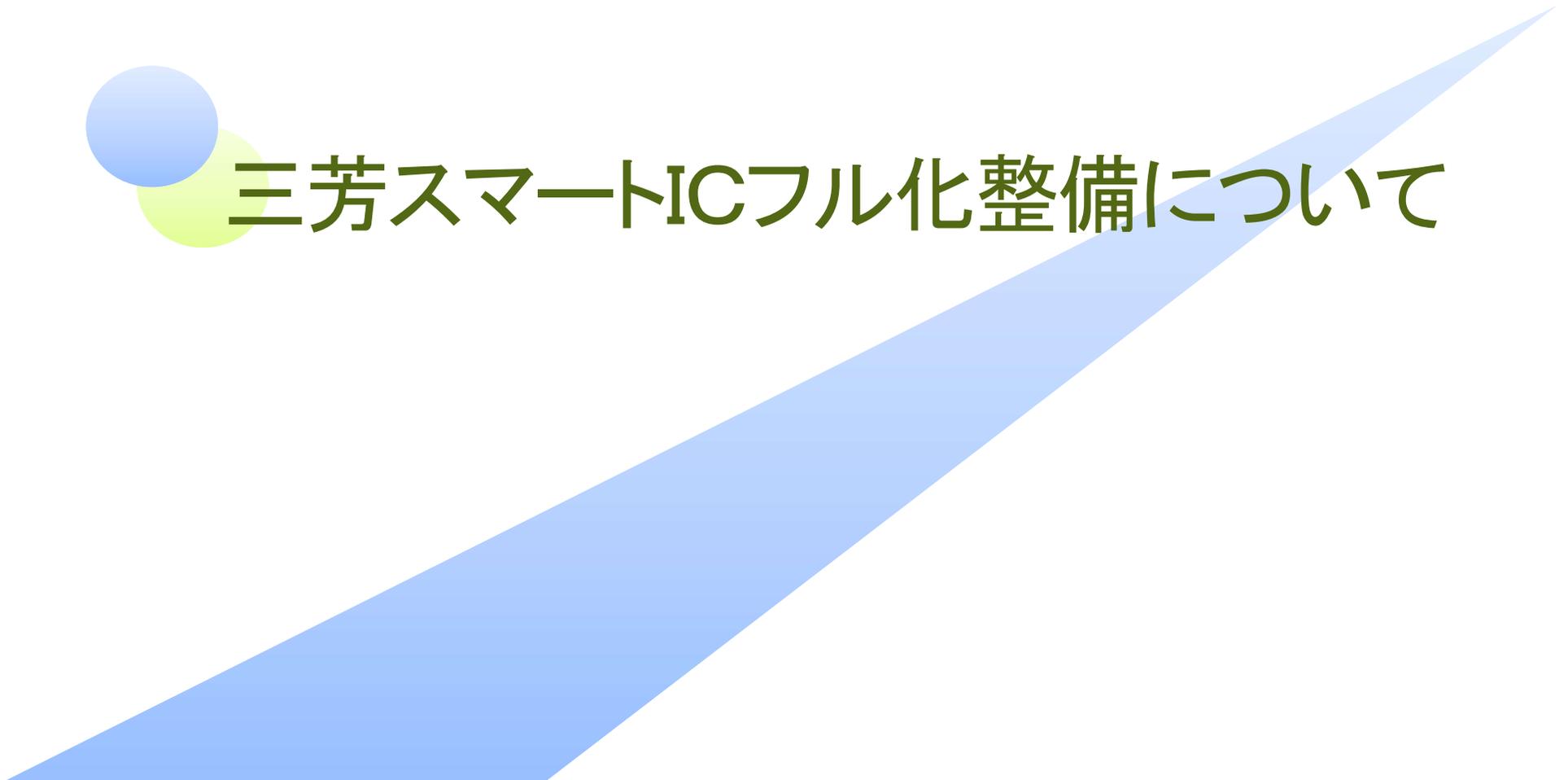
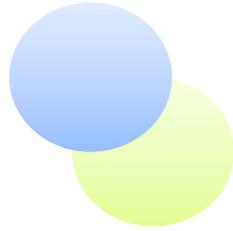


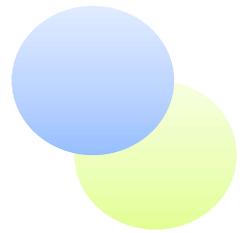
# 三芳スマートICフル化整備について





# 目次

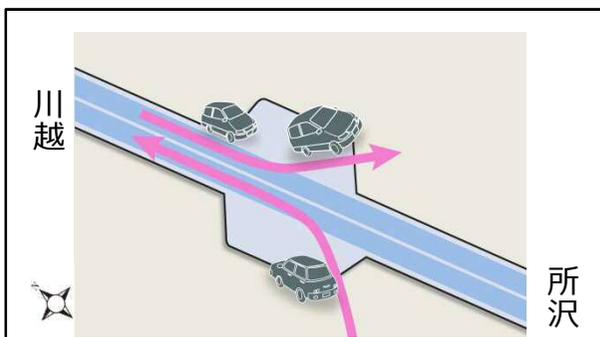
1. 事業概要
2. フル化事業の必要性
3. 整備効果
4. 地域の声
5. 課題と対策
6. 今後の取組み



# 1. 事業概要

## (1) 事業の経緯

### 現在の運用形態：ハーフ運用



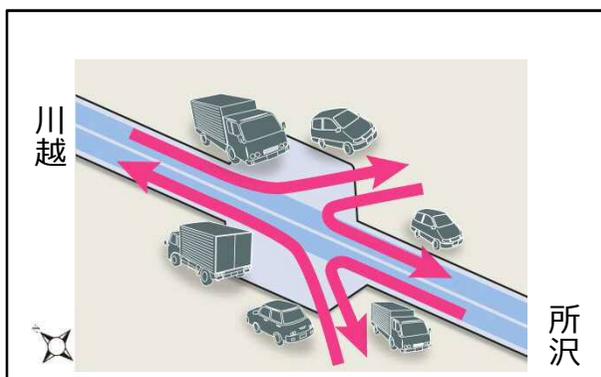
### 利用可能方面

新潟方面への入口（下り線）  
新潟方面からの出口（上り線）

### 利用車種

普通車までの制限

### 整備後の運用形態：フル化



### 利用可能方面

新潟方面・東京方面

### 利用車種

12m以内（観光バス・トラック等まで）

※トレーラーは利用不可

## (2) スマート I C とは



所沢 I C



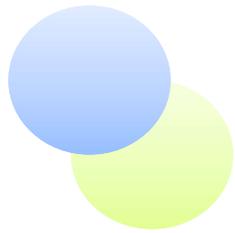
大規模な設備・広大な敷地が必要



三芳スマート I C



E T C 専用の簡易的な施設・必要最低限な敷地



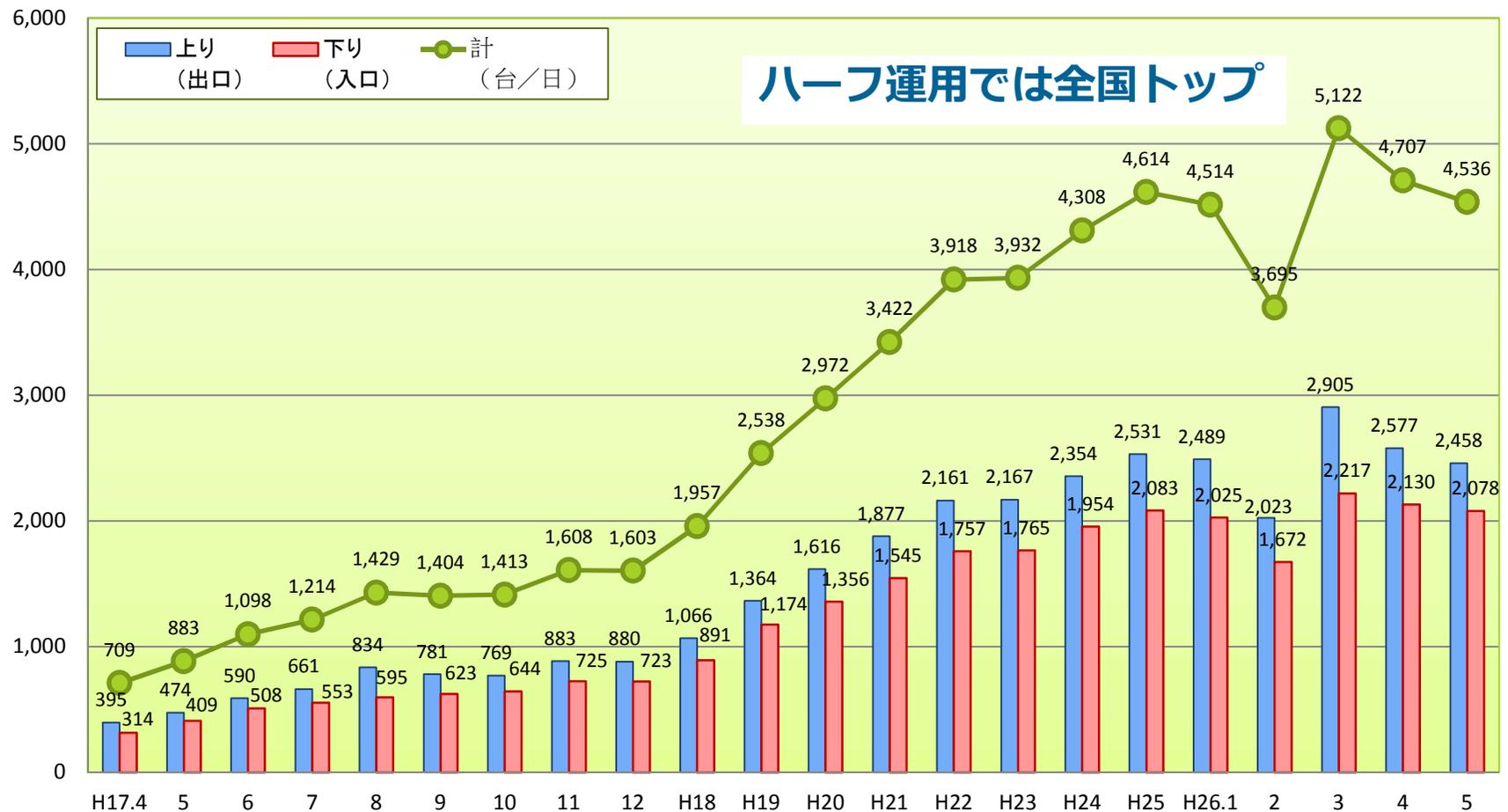
## 2.フル化事業の必要性

# (1) 施設の需要

当初の計画交通量 2,000台/日  
 現在の交通量 4,500台/日以上



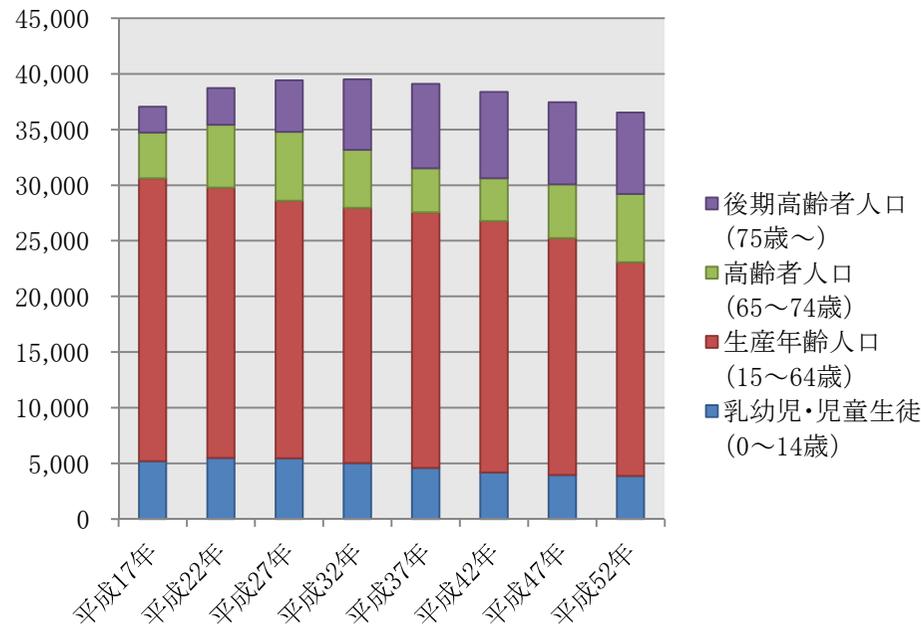
利便性の高さは証明



## (2) 三芳町を取り巻く状況

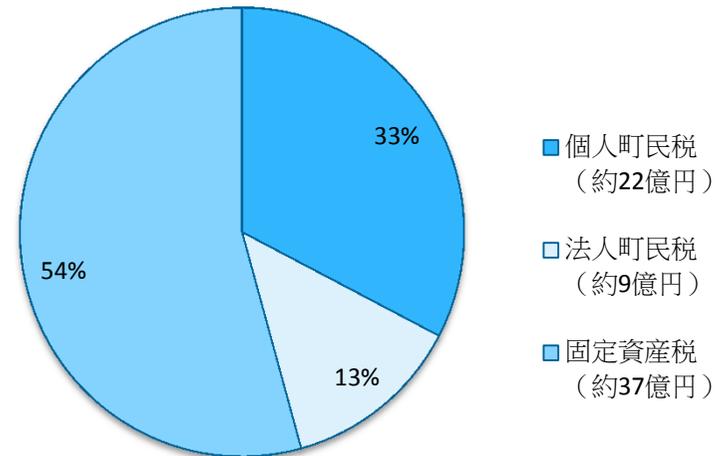
- ◆人口減少の流れの中で、生産年齢人口（15～64歳）の減少による住民税の減少が予想される。
- ◆事業所の固定資産税に支えられている部分も多く、企業の減少は財政への影響も大きい。

将来人口推計

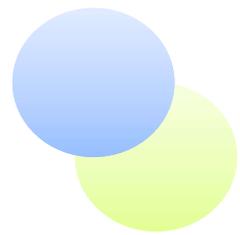


※国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

地方税の内訳（平成24年度）



三芳町の財政は、歳入の約60%が地方税であり、そのうちの約50%が固定資産税によって支えられている。



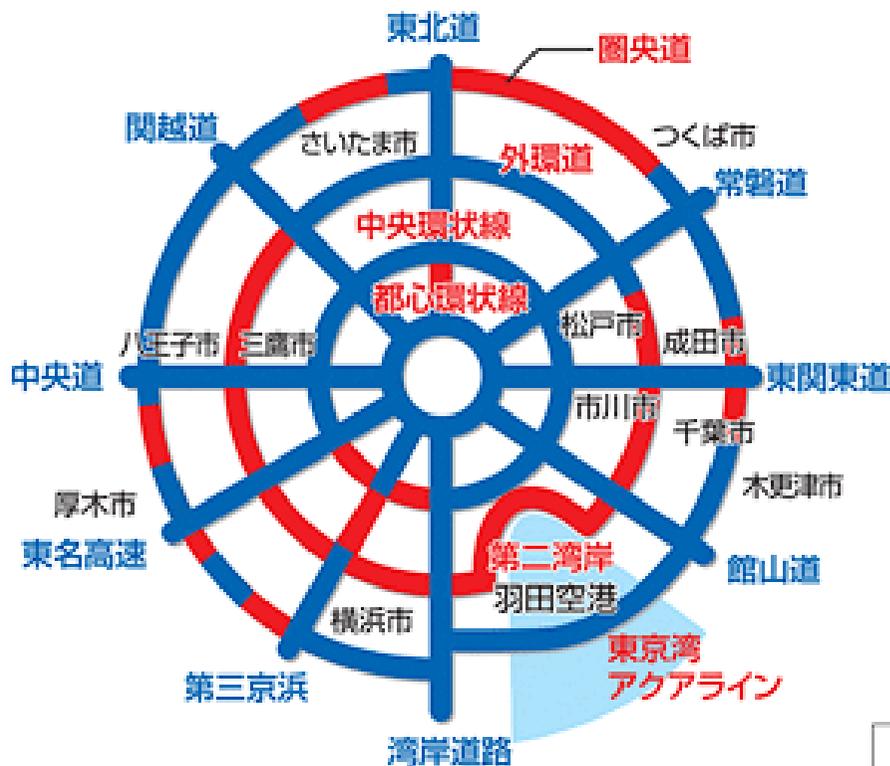
# 3. 整備効果

# (1) 利便性の高さ

## ①3環状9放射ネットワーク構想

### 3環状9放射ネットワーク構想

**整備率 61%**  
(2014年4月時点)



#### ◇渋滞緩和

車の流れがスムーズに。

#### ◇物流の信頼性向上

物流ネットワークが強化。

#### ◇地域経済と雇用の創出

沿道地域への企業立地が進み、地域を活性化。

# (1) 利便性の高さ

## ②3環状道路の延伸予定



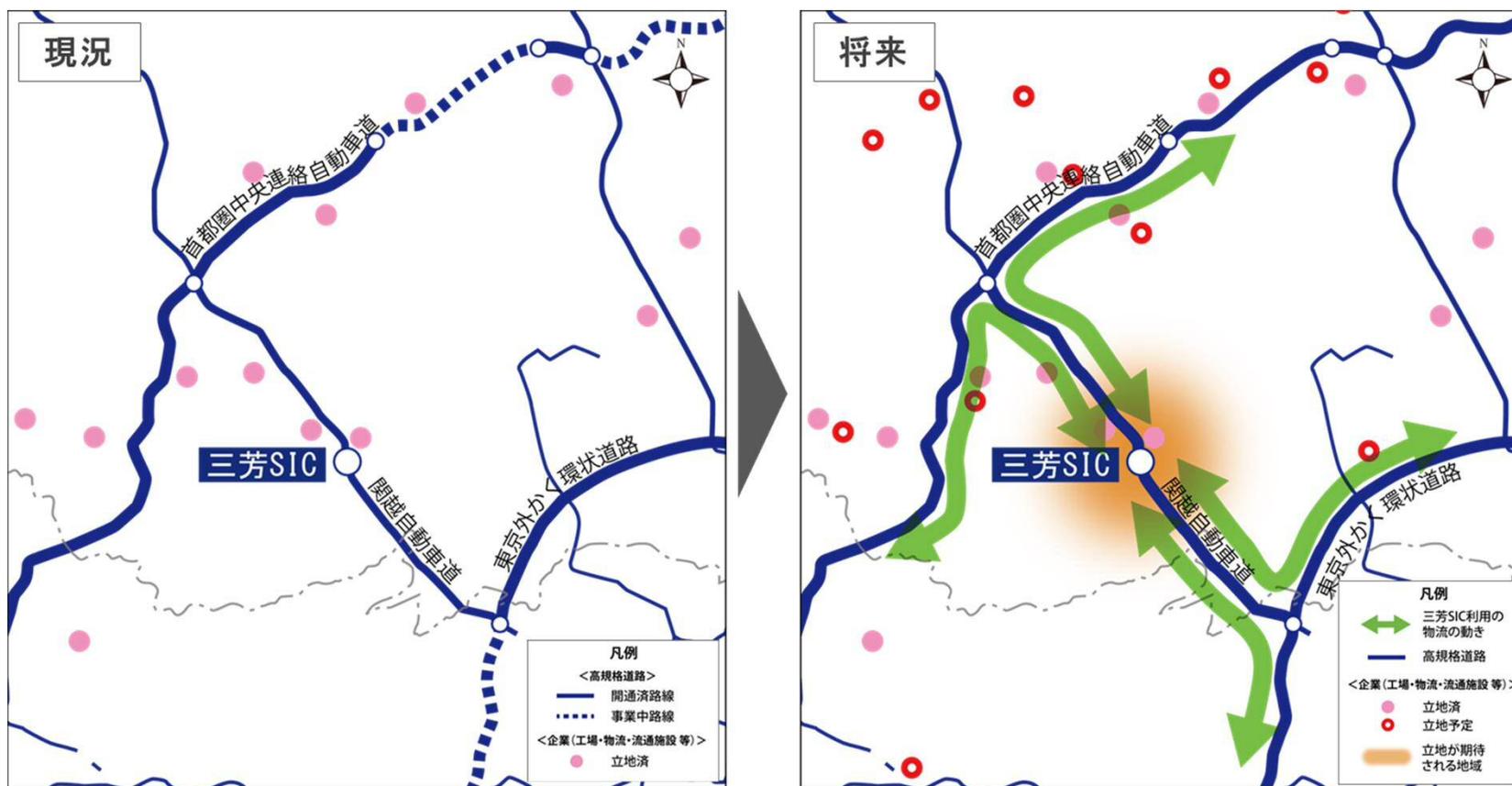
※3環状道路の開通目標 (国土交通省関東地方整備局HP)

## (1) 利便性の高さ

### ③ 選択肢の多い三芳町

**住民の行動手段が拡大** . . . 圏央道の東北道への接続・外環道の東名道接続

**物流拠点として高いポテンシャル** . . . 物流網における利便性も高い



※H25.9末現在 企業の立地・立地予定状況(H26.4 国土交通省 記者発表資料)

## (2) 産業の活性化

### ① 地域間競争における優位性

- ・ 物流コスト・時間の削減
- ・ 多様なルート選択肢によるリスクの低減
- ・ 首都圏に近い立地による従業員の確保

➡ **三芳町が選ばれる要件に！**

**ASKUL**  
アスクル株式会社  
ASKUL Logi PARK 首都圏



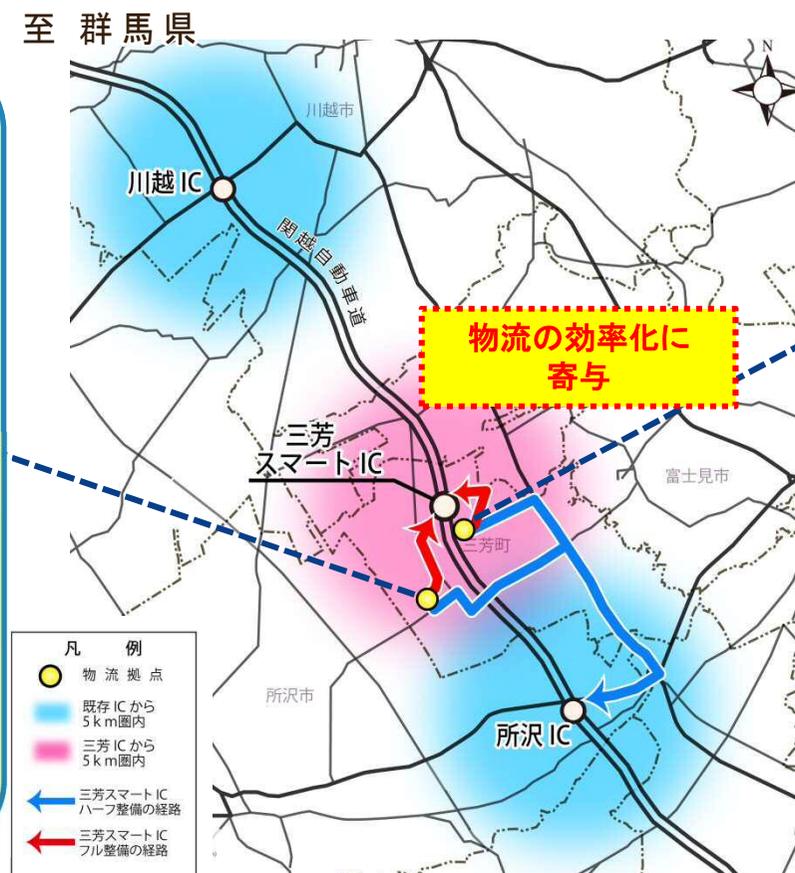
最寄ICまでの所要時間

三芳スマートIC ハーフ整備  
「会社」～「所沢IC」 約11分

三芳スマートIC フル整備  
「会社」～「三芳SIC」 約5分

↓

**約6分短縮**



**人と人の信頼を創る 武蔵野ロジスティクス**  
株式会社 武蔵野ロジスティクス  
本社・埼玉物流センター



最寄ICまでの所要時間

三芳スマートIC ハーフ整備  
「会社」～「所沢IC」 約19分

三芳スマートIC フル整備  
「会社」～「三芳SIC」 約2分

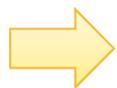
↓

**約17分短縮**

至 東京都

## (3) 防災拠点の形成

災害に強い立地



防災拠点としての機能強化



※国土交通省中部地方整備局HP 自衛隊の集結基地事例（越後川口SA）

陸上自衛隊とNEXCO  
連携実施協定を締結

応援機関の集結・駐留や、住民の水、食料、トイレを提供する貴重な防災拠点

緊急消防援助隊関東ブロック  
合同訓練（H24年度）



三芳PA

集結施設として活用

## (4) 新たな地域活性チャンス

### 潜在ターゲット

三芳スマートICは年間160万台が利用する施設

パサール三芳は首都圏でも成功したPA施設

### 新たな産業創出

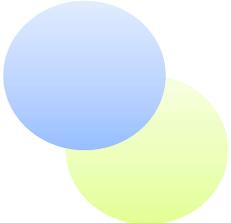
#### 観光の要素

- ・ 三富地割遺跡
- ・ 地場産品販売
- ・ 工場見学・直売

#### ブランド力強化の要素

- ・ 世界農業遺産
- ・ 富の川越いも
- ・ 三芳野菜
- ・ 狭山茶



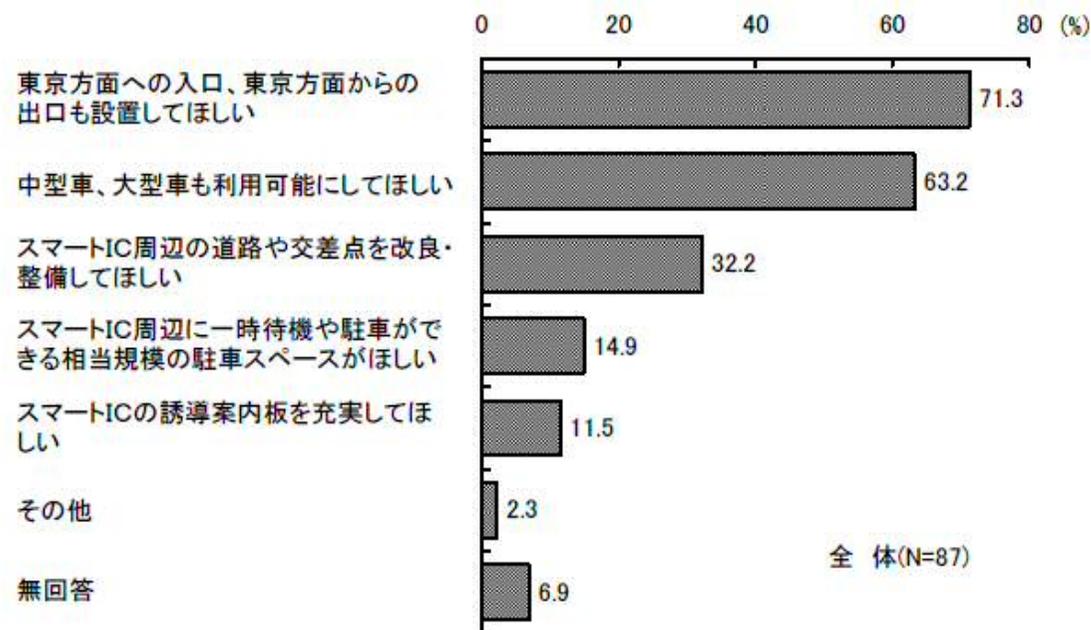


## 4 .地域の声

## (1) 事業者アンケート

(1)調査地域	三芳町及び三芳町周辺に立地する倉庫・物流系事業者
(2)調査時期	平成20年8月
(3)有効回収数	87社

図表－ 212 三芳スマートインターチェンジについての希望（全体：複数回答）



## (2) 要望活動

### スマートICフル化等促進会議

町内の企業や町民団体を中心とし、スマートICのフル化及び車種拡大、周辺道路整備に向けた活動を展開することを目的とした会議



**26,335名分の要望署名を提出**

### 国への要望活動

国へは多くの地域からスマートICの整備要望が寄せられている

検討の実現性を高めるため



**国土交通大臣へ要望**



平成26年5月21日提出

## (2) 要望活動

5月22日埼玉新聞

**スマートIC  
フル化を要望**  
三芳町長が国に  
関越道三芳パーキングエリア（PA）で2008年10月  
から本格運用されているスマート  
インターチェンジ（IC）  
について、三芳町の林伊佐雄  
町長は21日、国土交通省を訪  
れ、太田昭宏大臣に利用車種  
の拡大や東京方面への利用実  
現などを求める要望書を手渡  
した。近隣住民ら2万633  
5人の署名も提出した。

同ICは利用車種が普通自  
動車までに制限されている  
上、乗り降りは新潟方面のみ

で、東京方面への乗り入れや  
東京方面から降りることがで  
きない。パーフェクト運用が  
続いている。産業活性化、利便性  
向上の面で十分な効果が発揮  
できないとして、地元住民は  
12年10月、三芳スマートIC  
フル化等促進会議を立ち上  
げ、フルインターチェンジの早期実  
現へ検討を重ねてきた。

要望書は、首都圏域に近い  
立地環境から同ICのニーズ  
の高さを強調。「産業や観光  
緊急災害対策や救命救急医療  
の手段拡大などで地域の活性  
化に大きく寄与する」と、フル  
化の必要性や財源の確保を  
求めている。（江田崇）

5月22日朝日新聞

●関越道三芳スマートICの  
拡充要望 三芳町は21日、関越  
道三芳パーキングエリアの三芳  
スマートインターチェンジ（I  
C）について、東京方面からも  
利用できる「フルインター化」  
を求める要望書を太田昭宏・国  
土交通相に提出し、発表した。

町によると、三芳スマートI  
Cは2005年4月から社会実  
験の一環で設置され、1日平均  
約4700台の利用があるが、  
出口は上り線、入口は下り線  
のみ。東京方面から来る車が一般  
道に降りたり、東京方面に向か  
うため高速に入ったたりするこ  
とができない。普通自動車まで  
に限られている車種も、観光バス  
やトラックに拡大するよう求め  
ており、林伊佐雄町長は「企業  
立地の促進や、観光の活性化な  
どに寄与する」としている。

## (3) 住民アンケート調査の結果

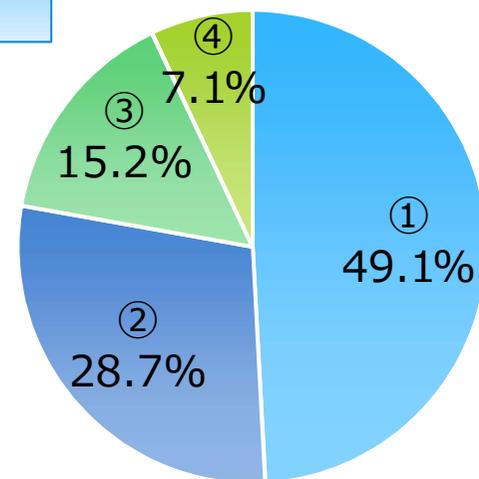
### ①フル化の実現について

#### 【住民アンケート概要】

(1)調査地域	三芳町全域
(2)調査対象	三芳町に住民登録されている18歳以上の男女
(3)標本数	3,000
(4)抽出方法	住民基本台帳から無作為に抽出
(5)調査方法	郵送法（郵送配布—郵送回収）
(6)調査時期	平成26年2月1日（土）～ 2月21日（金）
(7)有効回収数	1,445(48.2%)

#### Q. フル化整備について、どのようにお考えですか？

①要件が整えば、実現したほうがよい	710件
②フル化整備は実現したほうがよい	414件
③現状のハーフ運用のままでよい	219件
④無回答	102件

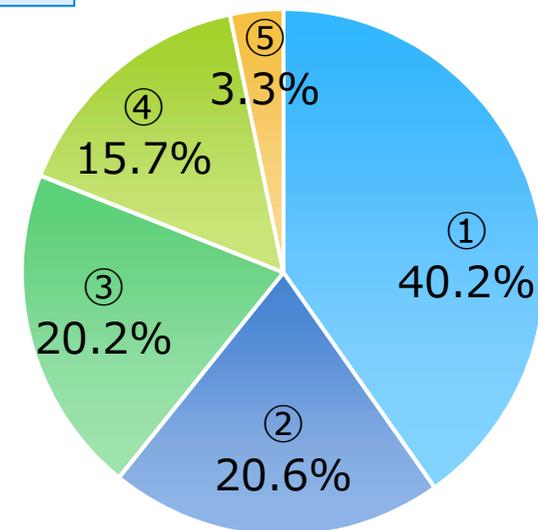


### (3) 住民アンケート調査の結果

#### ②実現に求める要件

どのような要件が整えば実現したほうがよいか

① 周辺道路における安全対策の実施	512件
② 周辺地域の将来構想検討	263件
③ 誘導案内の実施	257件
④ 費用対効果	200件
⑤ その他	42件



実現に向けた懸案事項

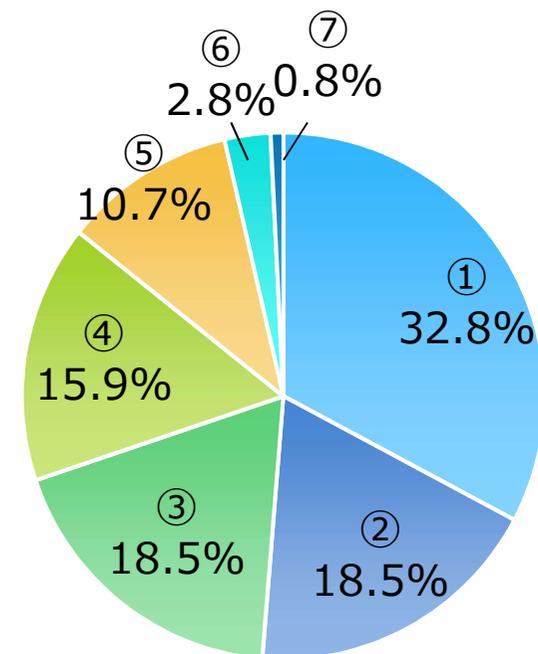
スマートIC整備に併せて対策を実行していかなければならない

### (3) 住民アンケート調査の結果

#### ③期待する効果

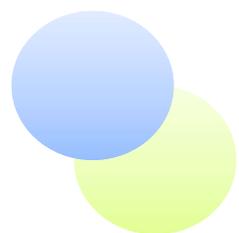
Q. フル化にどのような効果を期待しますか？

①東京方面へのアクセスによる利便性向上	831件
②地域産業の活性化	470件
③周辺道路の交通状況の改善	470件
④災害時の支援車両、緊急車両の通行	402件
⑤観光施設の利用促進	271件
⑥特になし	72件
⑦その他	20件



効果発現のための必要な政策

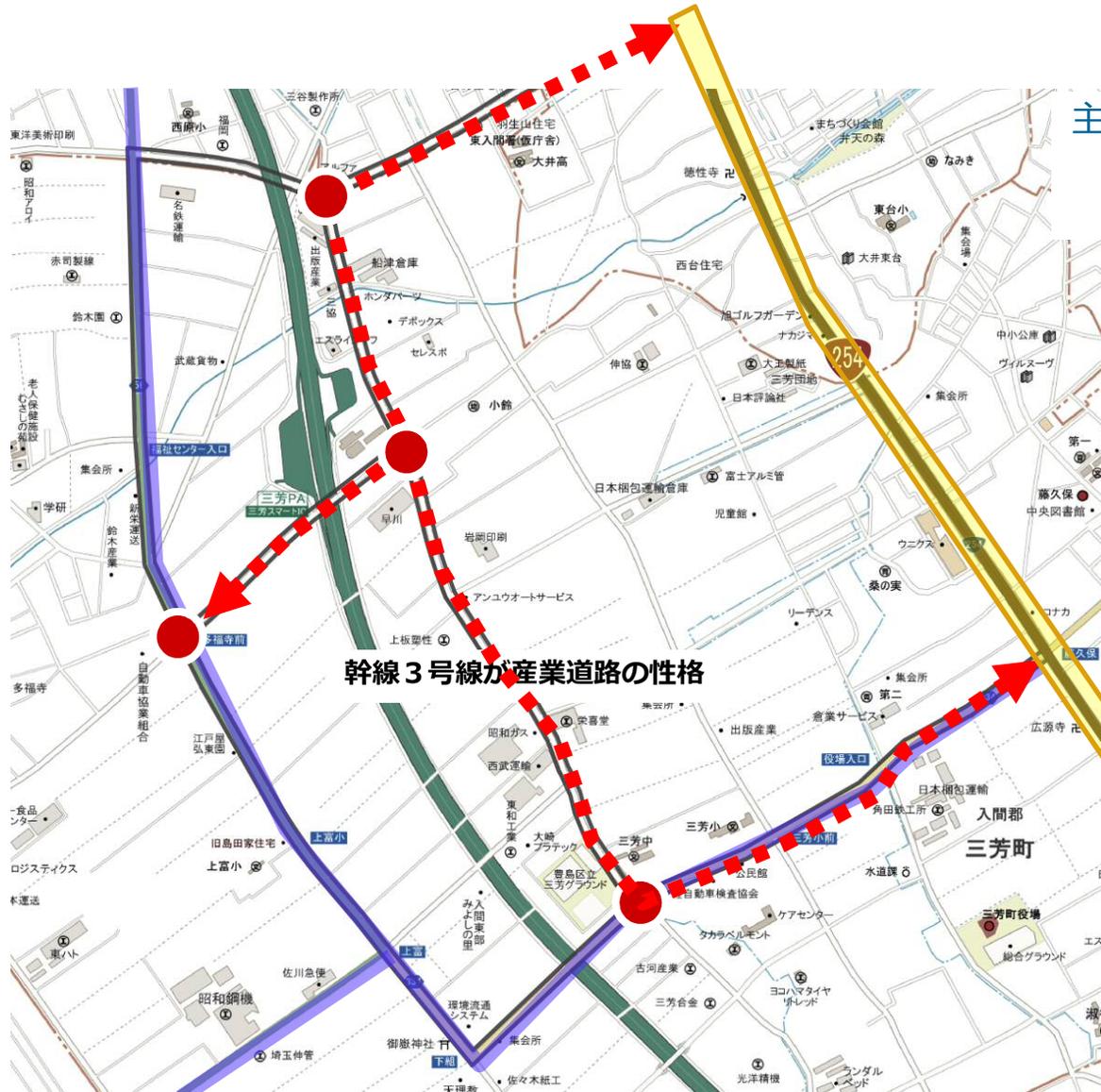
スマートICフル化の実現がゴールではない



# 5. 課題と対策

～ 実現に向けた懸案事項と解決策 ～

# (1) 三芳スマートICの交通誘導及び周辺道路整備の基本方針



主要幹線道路（国道・県道）への誘導  
幹線3号線の産業道路化  
生活道路への通過進入防止



誘導看板の検討  
各種規制等の研究



アクセスマートの  
絞り込み



交通量の増減を予測  
誘導方針との検証



必要な安全対策等の抽出



周辺整備計画

## (2) 三芳スマートICの周辺道路整備

### ②整備の手法

交差点改良 右折レーンの設置



誘導看板の設置



安全対策の手法検証

※国土交通省HP参照



路側帯のカラー舗装



各種規制

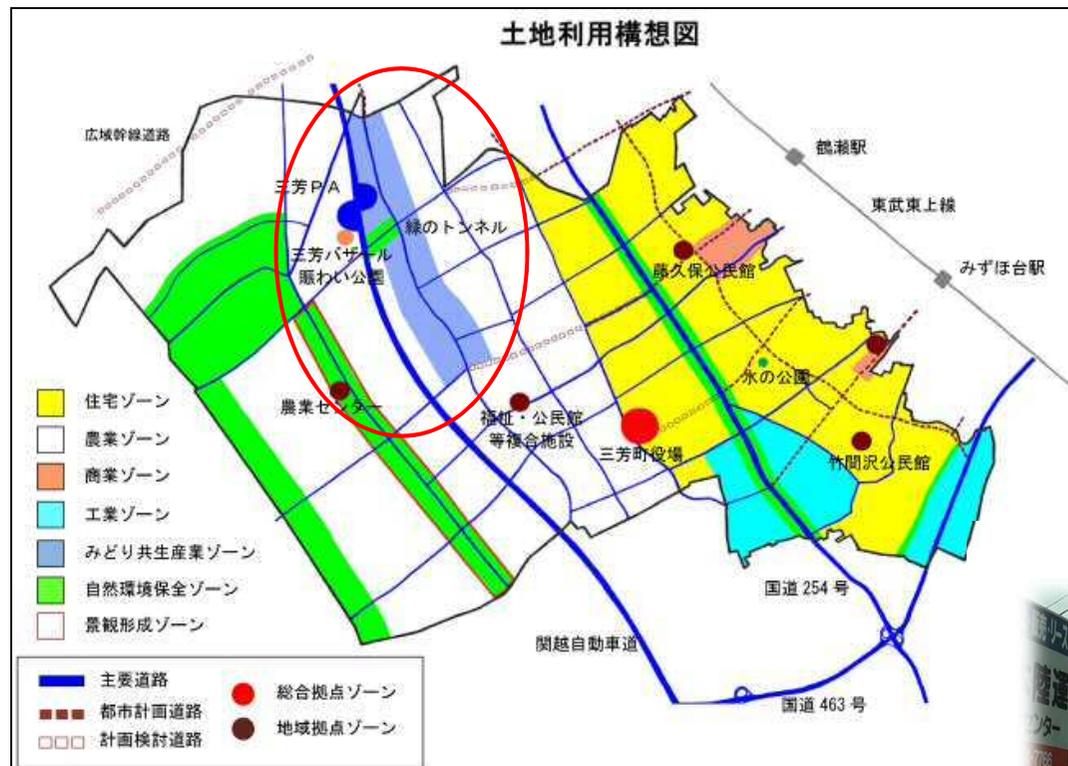


スピード抑制効果

## (3) 周辺地域の将来構想検討

### ①企業立地の促進

#### 開発誘導エリアの設定



#### 当該エリアの概要

【現状】 資材置き場、空き地、  
物流倉庫、製造業が立地



#### 一定の緑化の義務付け

沿道緑化基準  
企業協賛型保全  
敷地緑化率強化 等

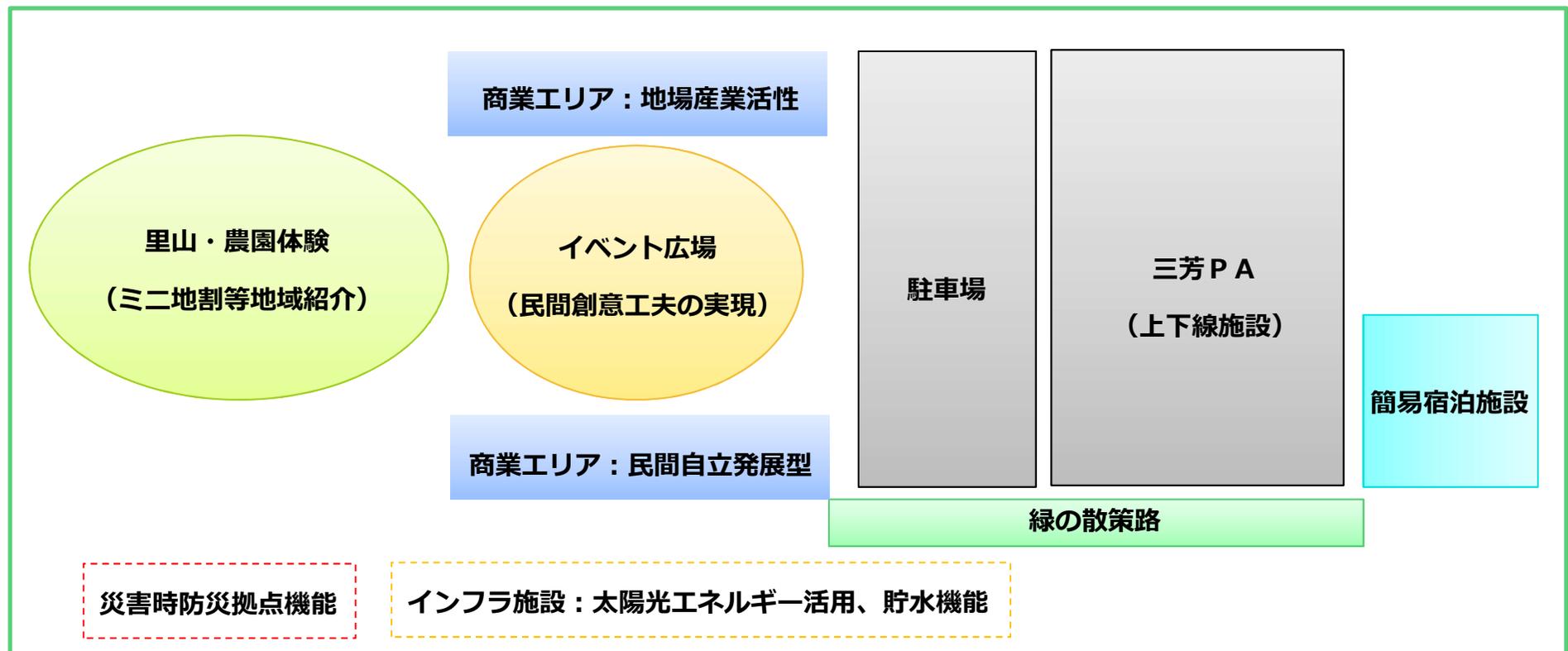


### (3) 周辺地域の将来構想検討

#### ② (仮称) バサール賑わい公園

#### (仮称) バサール賑わい公園構想

PAからも一般道からも利用可能な施設で自然に囲まれ、商業やイベントを中心とした人の交流と地域活性化をテーマとする公園の構想。



## (4) 費用対効果

### 現時点での概算費用（※概略検討をベースに積算）

総事業費 約15億円

うち国事業費 約9億円

うち町事業費 約6億円

整備範囲や詳細設計の内容により事業費も変動予定



財源

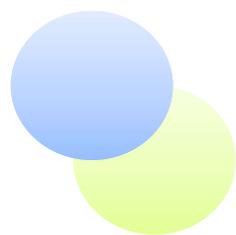
〔 国の交付金（社会資本整備総合交付金）を積極的に活用する方針 〕

### 税収効果

スマートIC付近に物流施設が立地した場合の税収効果

固定資産税 3,300万円/ha

（法人町民税は企業規模、企業所得額により変わるため推計の対象外）



## 6. 今後の取組み

## (1) 今後の主な取組み

### 関係機関協議

#### NEXCO東日本

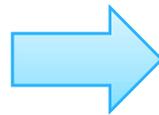
料金所から高速道路までの整備内容

#### 埼玉県警

交通安全面の検証

#### 国土交通省

整備効果検証  
地域のやる気



厳しい審査と地域間競争

### 将来ビジョン

#### 第5次総合計画の策定

より具体的にまちづくりを進めるステップへ